

---

ふくろう販売管理システムをもっと詳しく

# システム構成 編



ふくろう  
販売管理  
システム

業種別販売管理パッケージ  
お客様オリジナルカスタマイズ  
市販会計ソフトへ仕訳連動

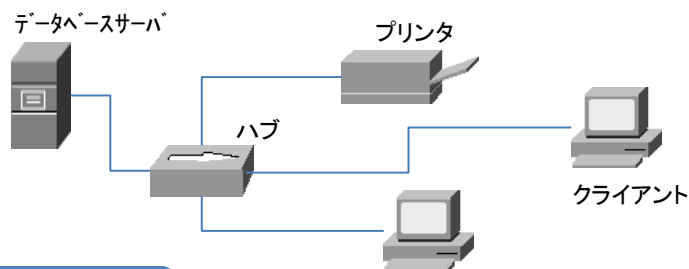
 **アステム** 株式会社

## (1) ネットワーク構成例

ふくろう販売管理はパソコン1台のみ(スタンドアロン)の構成は当然のこと、複数台での同時利用も可能なシステムです。同時利用の場合、同一構内のLAN構成だけでなく、遠隔地間のWAN構成でのシステム構築も可能です。

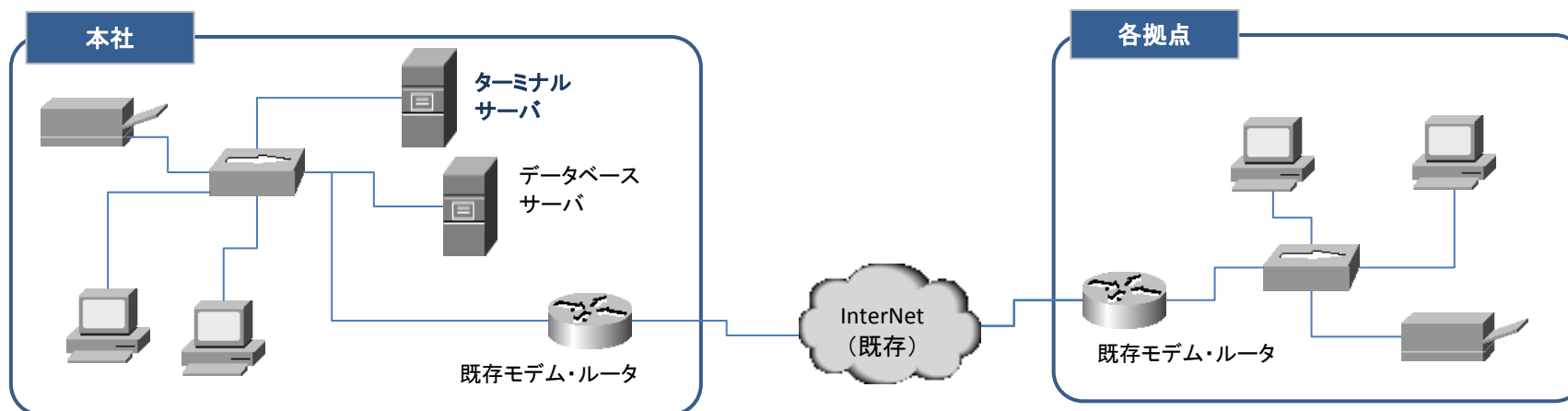
### LAN構成

LAN・・・ローカル・エリア・ネットワーク(構内通信網)の略で、サーバや各クライアントがLANケーブルやハブなどの接続機器で同一ネットワークとして接続されている環境。(インターネットなどの公衆回線網を使用しない)



### WAN構成

WAN・・・ワイド・エリア・ネットワーク(広域通信網)の略で、ふくろう販売管理システムの場合は、各拠点ごとにインターネットが開通していれば構築できます。各拠点からは既存のインターネット回線を通して、サーバのデータを更新、参照できます。大規模システムでよく聞かれる「固定IPアドレス」や「専用線」、「WAN専用ルータ」といったものは一切必要ありません。ターミナルサーバとよばれるサーバを設置し、遠隔地からのログイン認証制御やシステムの公開などを行います。



## (2)アプリケーション構成、システム

ふくろう販売管理システムを構築する場合に必要なアプリケーション、システム構成をご紹介します。

### スタンドアロンまたはLAN構成の場合

#### クライアント



- 1)オペレーティングシステム(OS)  
Windows限定で、XPのProfessional以降のOSが必要です。  
Ver2のふくろう販売管理であれば、最新版のWindows7や64bitOSにも対応済みです。
- 2)必要なアプリケーション
  - ① ふくろう販売管理システム  
各クライアントにセットアップされます。
  - ② MicrosoftExcel  
Ver2のふくろう販売管理の場合は、Excel2007が必須となります。  
以外のバージョンではExcel2003が必須となります。

#### サーバ



- 1)データベースサーバ  
データを保存して1元管理するためのデータベースサーバソフトが必須となります。  
ふくろう販売管理では、Microsoft社のSQL2008Serverをセットアップします。  
お客様がすでにSQL2008Serverのライセンスお持ちの場合は、そのサーバにふくろう販売管理のデータベースを構築可能です。
- ※ スタンドアロン構成や2ライセンス程度の構成の場合は、クライアントにSQLServerをセットアップして1台で共用することも可能です。

ふくろう販売はクライアント・サーバ型の  
Windows版アプリケーションです。



#### プリンタ



システムから伝票類や帳票類を紙ベースで発行する場合は必須となります。  
パッケージ標準ではA4のカラー・モノクロレーザ・インクジェットプリンタに対応しています。  
ドットインパクトプリンタを使用して、お客様指定の複写式連続紙に印字することも可能です。(要カスタマイズ)

## WAN構成の場合

### クライアント



1)オペレーティングシステム(OS)  
前項のLAN構成の場合と同様です。

2)必要なアプリケーション

①リモートデスクトップ接続

リモートデスクトップとよばれる接続ソフトを使用して、サーバのソフトを、クライアントからリモート(遠隔操作)で使用する方式となります。  
そのため、各クライアントにはふくろう販売管理やofficeソフトは必須ではありません。  
リモートデスクトップ接続ソフトはWindowsに標準で付属しています。

②VPN通信ソフト(ご希望される場合)

各拠点間は無料のダイナミックDNSサービスというサービス方式を利用し、固定IPアドレスの取得や専用ルータなどの導入なしでも任意のドメイン名で通信できるよう構築します。

しかし、このダイナミックDNSサービスは無料の他社サービスであるため信頼性は弊社では補償できません。

確実な通信を補償されたい場合は、予備接続方式として有償で提供されているVPN通信ソフトの導入をご提案しています。

VPNソフトに関しては、事項の「拠点間通信」でご説明します。

### サーバ



1)データベースサーバ  
前項のLAN構成の場合と同様です。

2)ターミナルサーバ

各拠点からアプリケーションサーバへリモートログインするためのライセンス発行・管理・認証のために必要となります。  
ダイナミックDNS方式での接続の場合、当サーバより発行した証明書を、各クライアントへインストールする必要があります。  
証明書による認証によりセキュリティが強化されます。

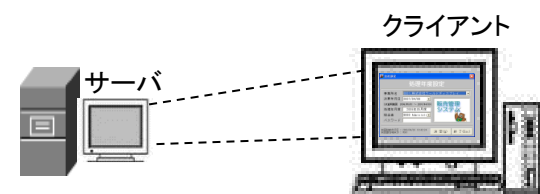
3)アプリケーションサーバ

ふくろう販売管理システムをセットアップします。

各クライアントは当サーバのシステムをリモート操作で使用する形式となります。

各クライアントからは当サーバ(またはドメイン)に登録されたユーザ・パスワードを入力することでログイン可能となります。

ふくろう販売管理システムの場合は通常、アプリケーションサーバとターミナルサーバは同一機器にセットアップします。



サーバの画面を各クライアント上に表示してシステムを使用します。

## WAN構成の場合

プリンタ



前項のLAN構成の場合と同様です。  
ただしWAN構成の場合は、ターミナルサーバとよばれるサーバ経由で発行しますので  
ターミナルサーバ対応 (Windows2008Serverのドライバが存在する) プリンタが必要となります。

## 拠点間の通信

①インターネット回線  
各拠点ごとにインターネット回線のご契約が必要となります。すでにご契約済みの場合は新たに契約する必要はありません。

②VPN通信ソフト  
前項の「クライアント」でご紹介したVPN通信ソフトで通信することが可能です。  
VPN通信ソフトとは、クライアントとサーバの双方にセットアップするだけで自動的に固定IPアドレスが付加され、  
同一グループのみが仮想的なLANとして認識され、情報も暗号化されるソフトです。

VPN通信ソフトは多く提供されていますが、例えばGMO社の「どこでもLAN」であれば、5ライセンスで3,150円/1ヶ月あたり(税込) となります。  
(ご参考: どこでもLAN <http://www.dokodemolan.com/price/>)

各拠点の通信手段は以下の2通りがあります。

- ①ダイナミックDNSサービス⇒ 無償であるが信頼性は補償困難
- ②VPN通信ソフト⇒ 有償であるが信頼性は高い



## (3)ターミナルサーバの機能、セキュリティ (WAN接続)

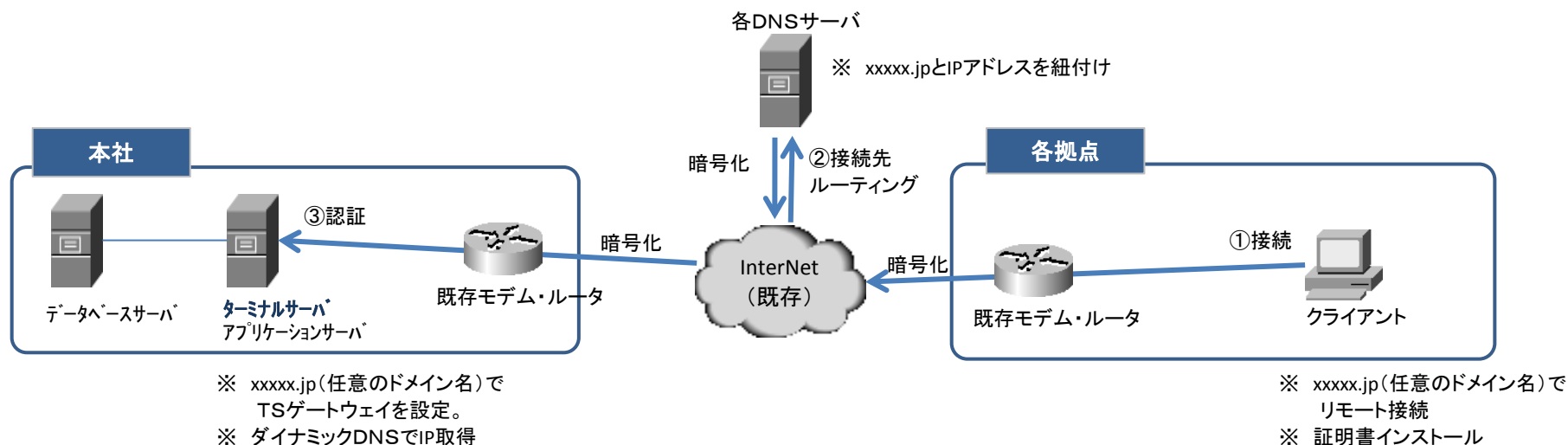
ターミナルサービスとは、複数クライアントが同時に1台のサーバに接続し、リモート操作可能とするソフトウェアとなります。当ソフトウェアを実装したサーバは「ターミナルサーバ」とよばれ、導入することでWANによるシステム同時利用が可能となります。Windows2008サーバからは、「TSゲートウェイ」という役割が追加され、機能やセキュリティが強化されました。

### TSゲートウェイ

ふくろう販売管理システムの場合、ダイナミックDNSサービス利用による拠点間通信の場合のみ使用する機能となります。当機能により、承認されたユーザのみが、インターネットに接続されている任意の端末からターミナルサーバに接続できるようになります。TSゲートウェイでは、HTTPSという通信手段を使用します。この通信手段は接続時に証明書が必ず必要で、証明書はターミナルサーバで発行したものを各クライアントにインストールすることで接続できます。証明書がない端末からは接続できませんので、なりすましによる不正ログインの防止となります。また、認証された端末・サーバ間の通信はすべて暗号化されていますので、データの改竄や漏えいも防止されています。ログイン認証に関してはサーバ認証(サーバのログイン画面表示してセッション確立)の前に、ネットワークレベルでの資格情報の認証が行われ、DOS攻撃(大量アクセスによるサービス妨害)も回避するよう考えられています。

HTTPSは通常一般的に外部に開かれている通信ポートとなりますので、ファイアウォールなどのセキュリティソフトを構成し直す必要性も低い通信方式となります。

※前項で記述したVPN通信ソフトは、これと同等の機能を有償で代替したソフトであるとお考えください。



## (4)ライセンス

ふくろう販売管理システムを使用するにあたって必要なライセンスをご紹介します。

### ふくろう販売管理ライセンス

ふくろう販売管理のライセンスは「同時使用ユーザ数」ライセンスとなります。

例えばセットアップしたクライアントが100台でもあっても、同時にシステム使用する最大数が10でよい場合は10ライセンスのご購入となります。(セットアップ費用は全端末数分必要となります)

ライセンスには「with SQL」と「for SQL」があり、お客様でSQL2008Serverのライセンスをお持ちの場合は「for SQL」の価格となります。

ふくろう販売は同時使用最大数でライセンスを導入できます

### ターミナルサーバライセンス

WAN構成にてサーバに同時アクセスする場合、そのライセンス購入が必要となります。

ライセンスにはデバイスCAL(接続する端末数分)か、ユーザCAL(使用するユーザ数分)の2種類が存在しますが通常はデバイスCALにてご購入となります。

### Windowsサーバクライアントアクセスライセンス

WAN構成の場合はターミナルサーバライセンスとは別で、Windowsサーバアクセス用のライセンスも必要となります。ライセンスにはデバイスCAL(接続する端末数分)か、ユーザCAL(使用するユーザ数分)の2種類が存在しますが通常はデバイスCALにてご購入となります。

WindowsサーバOSご購入時には5ライセンスが標準で付与されていますので、6台以上となる場合に追加購入が必要となります。

LANの場合は、ふくろう販売のライセンス(withSQL)だけで構築できます。

